

か、各学校でのカリキュラムマネジメントが求められている。しかし、それだけではなく、一歩先の 20 年後、どのような数学をどのように教えているのかについても考えることも必要である。

6 謝辞・事務連絡

文責 編集部 夏原智史 (都武蔵村山高)

第 99 回全国算数・数学教育研究 (和歌山) 大会 報告

第 99 回全国算数・数学教育研究 (和歌山) 大会が、和歌山県民文化会館にて、平成 29 年 8 月 5 日 (土) ～8 月 8 日 (火) の日程で開催された。

大会の研究主題は「生きる力をはぐくむ算数・数学教育の創造～主体性・多様性・協働性の育成をめざして～」であった。新学習指導要領において、算数・数学教育にも基礎的・基本的知識の定着にとどまらず、それらを活用して問題を解決したり探究したりする力や、答えが一つに定まらない問題に解を見いだしていく力、自らの考えを他者に的確に伝える力等の育成が求められている。そのためには、主体性をもち多様な考えを持つ人々と協働して問題を解決しようとする態度の育成をめざす授業の実践が必要である。それを踏まえて、今大会では、児童・生徒・学生が発達の段階に応じた確かな学力を身に付けるために、特に主体性・多様性・協働性の育成に焦点を当てて研究主題が設定された。

1 開会式

台風 5 号が接近、和歌山市に上陸する中、第 99 回全国算数・数学教育研究 (和歌山) 大会が約 2 2 0 0 名の参加者で開始された。和歌山大会実行委員長 片岡 啓 先生による挨拶等が行われた。

表彰では、功労賞として、長年、日本数学教育学会研究部、数学教育編集部、出版部等で活躍され、代議員・理事等でも貢献されている東京都立日比谷高等学校指導教諭 荻野大吾先生が表彰された。

2 記念講演

「地の巨人 南方熊楠」

作家 荒俣 宏

和歌山大会では、著書「奇想天外 南方熊楠」の中で、すべての博物収集家は超人であると書かれている作家の荒俣宏氏を講師として、南方熊楠について話していただいた。

講演の中で Polimathematics は博物学として捉えられ、数学のみならず、様々なリベラルアーツに繋がっているという話が印象的であった。

3 シンポジウム

本大会シンポジウムでは、新学習指導要領について、国際的な動向とともに我が国の算数・数学教育の実践に視座を据えて議論を展開された。

高等学校からは、研究部副部長の東京都立日比谷高等学校指導教諭 荻野大吾先生から、高大接続改革や新テストを視野に入れた指導方法や数学問題例も提案された。

4 分科会発表

数学Ⅲ分科会

数学Ⅲにおける教材研究と授業改善について－基調発表を踏まえて－

東京都立小石川中等教育学校 中村 明

高校生に興味・関心を抱かせる数学の教材集づくり－2 次曲線の定義・性質に着目させる教材に焦点を当てて－

東京都立八王子東高等学校 平井 恒

数学Ⅰ・A 分科会

不等式指導に関する一考察

東京都立武蔵村山高等学校 加藤 竜吾 夏原 智史

音読と小テストによる用語の指導

東京都立北豊島工業高等学校 村瀬 歩

数学Ⅱ・B 分科会

理解の定着と深化に焦点をあてた演習形式の授業展開Ⅱ－数学Ⅱ・数学Bの基調発表を踏まえて－

東京都立日比谷高等学校 青木 弘

問題解決・数学的な見方・考え方分科会

問題解決のための課題作成法の分析 基調発表を踏まえて

筑波大学附属駒場中・高等学校 須田 学

高校生に興味・関心を抱かせる数学の教材集づくり 生徒に問題を作らせる実践その 2

東京都立西高等学校 村形 政信

基礎・自由研究分科会

これからの学習指導要領と授業 基調発表をふまえて

東京都立日比谷高等学校 荻野 大吾

教育課程分科会

新しい教育課程編成に向けて～基調発表を踏まえて～

東京都立白鷗高等学校附属中学校 塩澤 友樹

5 閉会式

閉会のあいさつに併せて、次期第 1 0 0 回全国算数・数学教育研究 (東京) 大会の開催県である東京都から実行委員長の東京理科大学理学部第二部嘱託教授 池田文男 先生からあいさつがあった。

文責 編集部長 加藤竜吾 (都武蔵村山高)

編集部 坂井田博史 (都砂川高)